

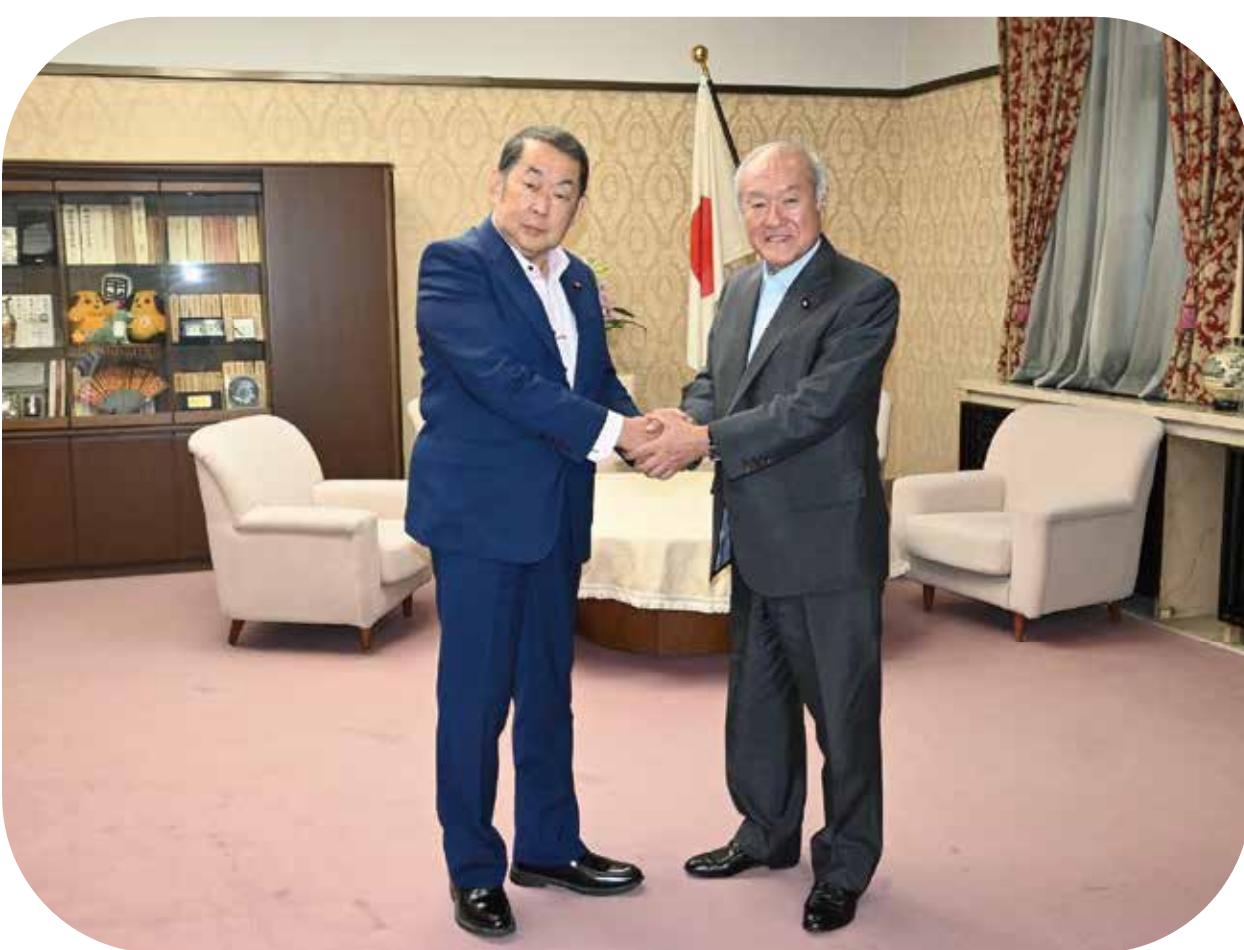
かねだ勝年 国政報告NEWS（令和5年8月）



討論資料

時局対談（8月1日）

かねだ勝年代議士 × 鈴木俊一 財務大臣



国内外において、何十年に一度といわれるような困難な課題が次々と起る中、金田代議士はおかげ様で日々、我が国の発展と、ふるさと秋田の皆様の暮らしを守るべく、国政の場で全力で活動をしております。

そうした中、東北を代表する政治家で、日頃からとても仲の良い、隣県の岩手選出の鈴木俊一財務大臣と、今後の政策課題について対談する機会を頂きましたので、「紹介をさせて頂きます。

（鈴木大臣） 日本は今、「時代の転換点」ともいえる内外の構造的な課題に直面しております。財務大臣兼金融担当大臣を拝命して1年10ヶ月ほど経過しましたが、その職責の重さを日々、実感すると共に、本日は、財務省OBでもあり、在籍中は主計官を務められた金田先生との対談の機会を頂き、嬉しく思います。国政を巡る様々な課題について、率直にお話をさせていただければと思います。

（金田代議士） 鈴木大臣は、自民党東北ブロック衆参両院議員会の会長もお務めで、私もその会長代行としていつも「指導を頂いており、本日の機会に心から感謝を申し上げます。

さて、エネルギー価格の高騰や食料品の相次ぐ値上げは、多くの国民に深刻な影響を与えてます。政府は、これまで、自民党の求めに応じて、物価高騰対策のための対策を行ってきましたが、物価高騰対策に対する大臣の想いは？

（鈴木大臣） ロシアのウクライナ侵略による世界的なエネルギー価格の高騰や、急激な円安等を要因とする物価高騰に対しては、政府としては、そのショックを和らげるため、電気・都市ガス料金の負担緩和策、飼料・肥料の高騰対策、さらには住民税非課税世帯等への給付金など、過去に例のない大胆な措置を講じてきました。迅速かつ臨機応変な対応が求められましたが、財務大臣として、補正予算の編成や予備費の活用など、国民生活を守るため、全力を尽くしてきたと言えるのではないでしょうか。

今後は、「これら対策の着実な執行を進め、引き続き、物価の動向等を注視しつつ、適切に対応していく」とが重要であります。加えて、物価高の克服に向け、一過性でない「構造的貢上げ」の実現が重要であります。全国のすべての国民が、物価高に負けない貢上げを実感する」とのできるよう、関係省庁とも連携し、持続的で構造的な貢上げを実現する取組みを進めます。

（代議士） ところで、令和2年の新型コロナ発生後、政府は、未知のウィルスへの対応として、感染対策や生活支援のため大規模な財政出動を続けてきました。新型コロナは本年5月に「5類」に移行しました。今後のコロナ支援の在り方をどうお考えでしょうか。

（鈴木大臣） コロナ禍への対応については、国民の命と健康を守り抜くことを最優先に、病床確保などの医療提供体制の構築、ワクチン接種体制の整備のみならず、緊急事態宣言等に伴い実施していた飲食店への協力金等の給付、雇用調整助成金の特例措置や実質無利子・無担保融資など、累次にわたる対策を講じてきたところです。

こうしたコロナ対策の実行のためには予備費の確保が必要であり、令和2年度においては9兆6500億円、令和3年度には5兆円の予備費を確保いたしました。令和2～3年度当時、金田先生は衆議院・予算委員長を務めておられましたが、コロナ対策に万全を期すための予算措置に当たっては、金田予算委員長に多くの「協力を頂きました。国民の命と暮らしを守るために、予算委員会の代表として大変な」尽力を頂きましたことに改めて感謝を申し上げます。また、こうした努力もあって、5月には新型コロナの位置づけがこれまでの「2類相当」から「5類」に移行し、医療体制やワクチンの供給も安定してきている点では、コロナ対策は一つの区切りを迎えたと考えております。特に、財務大臣として、来年度の予算編成に向けては、コロナ対策としての例外的な財政措置を漫然と続けるのではなく、平時の予算に戻していく必要があります。もちろん、経済の成長を実現し、国民の生命と財産を守るために必要な予算についてはしっかりと確保していくべき」とは大前提です。

（次項へ続く）

（発 行） 金田勝年後援会・自民党秋田県第二選挙区支部
（所 在） 能代市中和1-16-2 / 0185-54-3000

<各種SNSで、かねだ代議士の活動を紹介しております>



(代議士) 昨今、気候変動などの影響で、自然災害が頻発化・激甚化しています。先日も梅雨前線による大雨が私の地元の秋田を襲い、深刻な傷跡を残しました。大雨被害を始めとした災害支援や災害に強いインフラ整備についての大臣の「認識は?

(鈴木大臣) まず、先生の「地元である秋田において発生した大雨被害によりお亡くなりになられた方々の「冥福をお祈りするとともに、被災された全ての皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

今回の一連の大雨による被害への対応については、去る27日に、全国を対象とした激甚災害の指定の見込みを政府として公表しました。財政当局としても、関係省庁と緊密に連携し、被災状況に応じて、被災者の方々が一日も早く安心して生活できるよう適切に対応してまいります。

財務大臣といつ立場上、様々な政策課題について陳情や要望を頂きますが、中でも防災・減災のためのインフラ整備に関する要望は多く、災害から地域を守るうとする皆様の強い意志を感じています。

政府として、防災・減災、国土強靭化の推進のために毎年の予算においてしっかりと財源を確保してきたほか、令和2年には「国土強靭化5カ年加速化対策」を定め、「これに沿って着実にインフラの老朽化対策などを進めていく」といっています。国民の皆様の安全と安心を守ることとは政府の第一の役割であり、引き続き責任を持って進めてまいります。

(代議士) 日本は少子化という未曾有の危機に直面しています。秋田県の少子化は特に深刻で、「10年間の出生数の減少率は39%」と全国最下位です。「子ども・子育て政策の強化の速やかな実行が求められますが、今後の政府の取組を教えてください。
(鈴木大臣) 少子化は我が国が直面する最大の危機です。2022年の合計特殊出生率は1.26と過去最低となり、しかも、少子化のスピードは加速しています。政府としては、若年人口が急激に減少する2030年代に入るまでの「これから6~7年が、少子化傾向を反転させる」とができるか否かのラストチャンスとの想いで、「子ども未来戦略方針」を本年6月に閣議決定しました。

「若い世代の所得を増やす」「社会全体の構造・意識を変える」

「全ての「子ども・子育て世帯を切れ目なく支援する」の3つを基本理念としています。」「ともを生み、育てるにあたって、今の若い世代は、経済的な不安定さや出会いの機会の減少、家事・育児の負担や子育ての孤立感・負担感、教育にかかる費用など、実際に様々な困難に直面しています。政府としては、今後3年間のうちに、若者がこうした課題を乗り越えることができるよう、幅広い施策を速やかに実施したいと考えており、来年度予算編成において、関係省庁とともに政策の具体化をしつかりと進めることで、可能な限り前倒しで、国民の皆さんに支援の充実を実感していただけるよう努力してまいります。

また、一方で、「子ども・子育て政策については、裏付けとなる「財源」についても検討していかなければなりません。確実な財源なしに借金で賄おうとすれば、その返済は将来世代に押しつけることになります。徹底した歳出改革や既定予算の活用を先行させるなど、安定財源を確保しつつ、政策を前に進めてまいります。

(代議士) 本日は東北を愛し、秋田にも関わる深い東北を代表する政治家である鈴木俊一財務大臣から、北東北の方らしい実直なお言葉で、幅広い政策課題について、今後の政策の方向性を見据えたお話を伺いました。

(鈴木大臣) 東北の発展に向けて、一緒に頑張っていきましょう。



<国会後半から夏までの秋田、東京での金田代議士の活動から……>



統一地方選の結果をうけ、党本部で森山選対委員長と記者会見(04/09)



衆・参補欠選挙の結果をうけ、幹事長らと記者会見(04/23)



藤里町長と加藤厚労大臣に地域医療への支援を要望(04/25)



志帥会政策研修会(04/26)



県JAの斎藤会長(当時)らと「食料・農業・地域政策推進全国大会」に出席(05/12)



本会議前の代議士会にて(05/12)



昨年8月の豪雨災害からの花輪線全線運転再開で鹿角市長と沿線を視察(05/14)





酒類業団体の総会で講演(05/16)



能代山本建設業協会総会で(05/19)



能代公園おもしろ
アート祭に参加(05/20)



能代山本吹奏楽連盟演奏会(05/20)



秋田県スポーツ協会
100周年記念式典で挨拶(05/21)



秋田県柔道整復師会総会で挨拶
(05/21)



予算委員会(05/24)



花輪中学校国会見学(05/25)



大館第一中学校国会見学(05/25)



元総理大臣 菅義偉先生 胸像完成除幕式・祝賀会で(05/27)



秋田県建設業協会
表彰式・総会で(05/29)



秋田県農業会議要請集会で
(05/30)



船川港港湾振興会で挨拶
(06/02)



第8回肉の博覧会inおおだて
(06/03)



国産再エネ議連 岸田総理に申入れ
(06/05)



北秋田市長と環境省へ「森吉山の
国立・国定公園化」の要望(06/06)



大館市議会「真政会」皆様の国会研修で(06/07)



森吉山国立・国定公園化に向けた
北秋田でのシンポジウム(06/24)



小坂町アカシアまつりで(06/10)



田代名産たけのこ祭りで(06/11)



「地方を世界へin秋田」で林外務大臣
に秋田の魅力を説明(06/17)





自民党大館支部総会(06/25)



自民党男鹿支部総会(06/25)



自民党秋田県連大会(07/02)



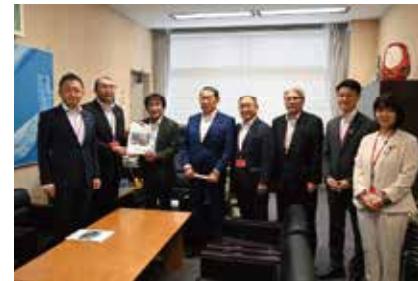
自民党阿仁支部総会(07/09)



大館北秋田土地改良
農水省要望活動で(07/11)



能代山本土地改良
農水省要望活動で(07/12)



秋田県議会建設委員会 国交省要望活動で(07/13)



谷公一防災大臣 大雨災害視察①(07/21、五城目町)



谷公一防災大臣 大雨災害視察②(07/21、秋田市川反・添川)



谷公一防災大臣 大雨災害視察③(07/21、知事・市町村長らと意見交換)



石井浩郎国交副大臣 大雨災害視察①(07/24、八峰・三種町)



石井浩郎国交副大臣 大雨災害視察②
(07/24、能代市内)



JA厚生連 雨宮前会長
叙勲祝賀会で挨拶(07/24)



県議会林業活性化議連のメンバー
と林野庁幹部に要望活動(07/25)



八郎潟地区土地改良協議会で
農水省要望(7/25)



豪雨災害をうけ、佐竹知事と加藤厚生労働大臣、野村農水大臣らへ
復旧に向けた国からの支援を要望(7/26)



衆・災害対策特別委員会で豪雨災害
への国対応状況を確認(08/08)